

推薦書は下記の例に倣って、読みやすいサイズ（12ポイント位）及びレイアウトでA4用紙1枚に納まるように記載してください。

## 推 薦 書

---

(ふりがな)  
氏 名 生年月日（ 年 月 日生）  
          はね  たろう  
(例)  島根  太郎      1970年4月7日生

---

候補者の所属及び現職名

(例)  〇〇大学医学部附属病院  助教

---

推薦する講座（診療科・施設）名及び職名

(例)  医学部附属病院臨床研究センター  講師

---

候補者の主たる研究分野

(例)  生物統計学

---

推薦理由

---

参考事項

(例)  2010年8月  第18回〇〇学会奨励賞受賞

---

年  月  日

推薦者の職・氏名（自署）

〇〇学講座（〇〇学）教授   〇  〇  〇  〇

島根大学学術研究院医学・看護学系長   並  河  徹  殿

---

履歴書（読みやすいサイズ，レイアウトで下記の順にA4用紙に作成）

## 履 歴 書

フリガナ

・氏名，（必要なら旧姓），性別，生年月日（西暦），年齢（履歴書作成日現在の満年齢）

・現職（例）〇〇大学医学部附属病院助教

・郵便番号，現住所，電話番号，メールアドレス

・学歴（高校卒業以降の学歴）（例）1989年3月〇〇高等学校卒業

・学位（授与年月日，学位名（博士等），授与大学名）

（例）2003年3月 博士（医学）の学位授与（乙第〇〇号） 授与大学名（〇〇大学）

・免許，資格（医師免許等国家試験に基づく免許・資格のほか，学会認定専門医等の資格も  
取得年月および登録番号と共に記載）

（例）1993年5月 医師免許証交付 登録番号第〇〇〇〇〇〇号

・職歴（機関名，所属，職名）・研究歴（身分，所属教室等）

採用及び退職あるいは始期及び終期の年月を明示〔研究生，専攻生等，また外国出張（1ヶ月以上）及び  
外国留学及び学内（院内）における主な活動（ICT，卒後研修センターの役員等）についても記載〕

（例）1999年4月 〇〇大学〇〇学部助手に採用

2003年3月 同上退職

2003年4月～2004年3月 〇〇大学医学部附属病院助教

・所属学会，学会役員及び社会における事項等（年月も入れて記載）

（例）1996年1月 日本臨床研究学会会員

・賞罰，研究助成等（年月，名称）

・主たる研究分野（箇条書き）

（例） 生物統計学

・学術論文（論文数を欧文と邦文別に記載）

（例）55編（欧文 47編，邦文 8編）

うち最近5年間の発表 38編（欧文 33編，邦文 5編）

注：5年間とは2013年以降のもの

・著書（著書数を欧文と邦文別に記載）

（例）5編（欧文 3編，邦文 2編）

うち最近5年間の発表 3編（欧文 2編，邦文 1編）

・学会発表（特別講演・教育講演・シンポジウム，国際学会，国内学会等）

（例）国内学会 10回

（特別講演 1回，教育講演 2回，シンポジウム 7回）

注：上記の例のように国内学会を行った回数全ての内訳が判断できるように（ ）書きを記載

国際学会発表 5回

うち最近5年間の発表回

国内学会 2回

（特別講演 1回，教育講演 0回，シンポジウム 1回）

国際学会発表 2回

上記の通り相違ありません。

履歴書作成年月日（西暦）

氏名（自署），捺印

## 業績目録記載上のお願い

下記の例記を参考にしてA4用紙に作成してください。

- (1) 学術論文、著書、学会発表をそれぞれ別葉にして記載して下さい。(投稿中の論文などで掲載証明のないものは除く。)
- (2) 学術論文は、原著、症例報告、総説、その他に分類し、古いものから年代順に記載し、それぞれ通し番号を付け、候補者名に下線を引いてください。
- (3) 原著論文のうち主要なもの10編について、業績目録の番号に○印を付けて、その別刷を**各3部**(コピーも可)提出してください。別刷には業績目録の番号を表紙の右肩に記入してください。
- (4) 論文のうち学位(博士)論文には業績目録の番号に◎を付けて、その別刷(コピーも可)を**1部**提出してください。(学位論文を主要論文10編に含める場合は、○○と記載し、**3部**提出してください。)
- (5) 著書は年代順に記載し、古いものから通し番号を付けてください。
- (6) 学会発表は、年代順に記載し、古いものから通し番号を付けてください。

-----  
業績目録の例記 (A4用紙で下記のように記載してください)

### 学術論文

#### 原著

##### 欧文

1. Shimane T, Izumo J: The value of rural experienced practices in undergraduate medical students. Medical Education 00(0): 000-000, 2008.

2. \*\*\*\*\*

##### 邦文

1. 島根太郎, 出雲次郎: 地域医療教育におけるe-learningの応用. 医学教育 00(0): 00-00, 2008.

2. \*\*\*\*\*

### 症例報告

#### 欧文

1. \*\*\*\*\*

#### 邦文

1. \*\*\*\*\*

### 総説

#### 欧文

1. \*\*\*\*\*

#### 邦文

1. \*\*\*\*\*

### その他

#### 欧文

1. \*\*\*\*\*

#### 邦文

1. \*\*\*\*\*

[頁を改める]

著 書

欧文

1. Shimane T: Undergraduate and postgraduate rural training. In:Rural Medicine. William JW ed.Mc-Graw-Hill Inc, New York, 2008; 00-00.
2. \*\*\*\*\*

邦文

1. 山田太郎, 島根太郎 : 地域医療と医学教育, 地域医療. 出雲一郎編. 島根書院, 東京, 2008 ; 00-00.
2. \*\*\*\*\*

[頁を改める]

学会発表

国内学会発表

1. 島根太郎, 出雲次郎 : 初期臨床研修における研修環境改善の取り組み. 第50回日本〇〇学会総会, 2008

国際学会発表

1. Shimane T, Izumo J : Rural practice and distance learning using ICTs in medical education program. The 13<sup>th</sup> International Conference on Clinical Competence 2008 (Boston)